

調査報告書

- 1 とき：2012年5月16日
- 2 行先：名古屋高速大高線 丹後カーブ高架下
- 3 参加者：わしの恵子、政務活動補助員（浜田）
- 4 主な内容

- ・ 名古屋高速高架落下物の調査をした。
- ・ コンクリート片2個が、右折するために交差点で停止している車に落ちた現場。
- ・ 応急的に破片は取り除かれていたが、ネットを張るなどの対応はされてなかった。対応策を決めるのに時間がかかるらしい。
- ・ 非常に交通量が多い路線なので、同種の構造箇所の調査と落下防止対策が急ぎ必要だ。
- ・ 2週間前の群馬県のツアーバス事故現場のようにガーソレールと遮音壁の間に隙間がある箇所の調査は、名古屋高速も現在すすめているらしい。

